

(様式)

令和4年3月31日

郡山市PPP/PFI手法導入優先的検討基準に基づく結果報告書

検討段階

PPP/PFI簡易導入可能性調査

施設担当課

文化スポーツ部スポーツ振興課

施設名称

(仮称) 郡山市パークゴルフ場

公共施設総合管理計画に基づく検討開始年度

—

所在地

郡山市富久山町福原惣ケ久保31外18筆

定量評価結果概要 (担当：行政マネジメント課)

【VFM】

郡山市PPP/PFI手法導入優先的検討基準において、既存公共施設の改修又は建替の場合は、10億円以上がPFI検討の対象要件となっているが、本事業においては、整備規模、維持管理・運営費、使用料収入の見込みも大きくないため、VFMは算出されなかった。

【参考：通常の施設における前提条件】

- ①「建替」パターンについて、「従来型手法」と「PFI手法」の比較
- ②事業方式については、「BT0 (Build Transfer Operate) 方式 (PFI法)」により計算
- ③事業期間は、「施設整備期間」を「1年」及び「2年」の2パターン、「維持管理運営期間」を「15年」とし計算
- ④収入は、イコールフィッティングの観点から、「従来型手法」と「PFI手法」いずれもゼロ円で計算 (補助金・交付金・起債)
- ⑤その他、利率・SPCや資金調達費用・税率等については、過去のPFI案件平均等を活用
(長期借入金・上乗せスプレッドは、令和元年度「開成山体育施設劣化状況調査及びPPP/PFI導入可能性調査」の結果で算出した数値を採用)
- ⑥「維持管理運営期間」を「15年」とし、大規模改修は生じない想定で計算

定性評価結果概要 (担当：施設所管課)

パークゴルフ場において指定管理者制度を導入している施設は複数あり、PFI導入により民間ノウハウの活用による市民サービスの向上が期待できるものの、PFI導入事例はなく、施設整備に関し、特殊性もあることと併せ、整備規模も優先的検討基準に定める額 (10億円) 以下となる見込みで、大規模ではないことから、PFI手法と従来手法に差が生じにくいことが想定される。

また、本施設は、市パークゴルフ協会から長年にわたり建設要望が提出されていることや、パークゴルフ人口の増加及びポストコロナ社会における屋外スポーツ施設の需要の高まりなどを受け、迅速な施設整備が求められていることから2024年度 (令和6年度) の開場を目指している中で、PFIは、手続きに時間を要し、2024年度の供用開始は困難な状況にある。

総合的な評価結果 (担当：施設所管課)

本施設の整備は、長年の懸念事業であり、現代の情勢においても当スポーツ施設整備の需要が高まりつつある中で、時間的猶予も乏しく、VFMも見込みにくい状況から総合的に検討した結果、現時点でのPFI導入には優位性が見込めないと判断する。

次の検討段階

従来工法による事業化検討を実施する (実施設計の予算化を行う)

備考

- 1 VFMの計算時、利率・SPCや資金調達費用・税率等については、過去のPFI案件平均を採用